

第 39 回 青森骨盤外科研究会 プログラム・抄録集

期 日：平成 28 年 11 月 12 日(土) 14:00～

会 場：ホテル青森 3 階「あすなろの間」

青森市堤町 1-1-23 TEL 017-775-4141

当番世話人：弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座

横山 良仁

青森骨盤外科研究会

後 援

青森県医師会／青森市医師会／八戸市医師会／弘前市医師会
南黒医師会／上十三医師会／(社)大館北秋田医師会／(社)青森県看護協会

御 挨 拶

この度第 39 回青森県骨盤外科研究会の当番世話人を担当させていただくことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

どの診療科、臓器別でも手術は低侵襲性に向かっているものと思われます。私が入局した頃は、子宮頸癌手術であれば骨盤神経を含めて広範囲に切除するため術後の排尿障害は必発、排尿が早期に回復すると切除範囲が足りなかったのではないかと反省し、患者の QOL は二の次という時代でした。時代は進み、根治性を担保しながら患者の QOL の維持を目指した手術手技の改良がなされ、その代表が鏡視下手術、その行き着いた先がロボット手術であると思われます。泌尿器科の前立腺癌手術が代表であるロボット手術は、消化器外科、胸部外科にも取り入れられ、産婦人科領域でも、骨盤底の深い部位の操作が必要でかつ排尿機能の自律神経を温存させたい広汎子宮全摘術に威力を発揮しています。今回の特別講演では、産婦人科領域のロボット手術のパイオニアである東京医科大学産科婦人科学講座・主任教授の井坂恵一先生に婦人科悪性腫瘍に対するロボット手術の現状と将来をご講演していただく予定です。また、山梨大学大学院総合研究部成育看護学講座・教授の石川眞里子先生には、ストーマケアの問題点や合併症対策をご講演いただく予定となっております。

10 題を超える一般演題もエントリーしていただきました。日常診療でご多忙な中で当研究会へのご参加に感謝申し上げます。各診療科の発表を拝聴することは自科の臨床にも役立つことが多いことを経験しております。ご参加のみなさまから活発なご討論を頂戴し本研究会が実り多きものになることを期待しております。

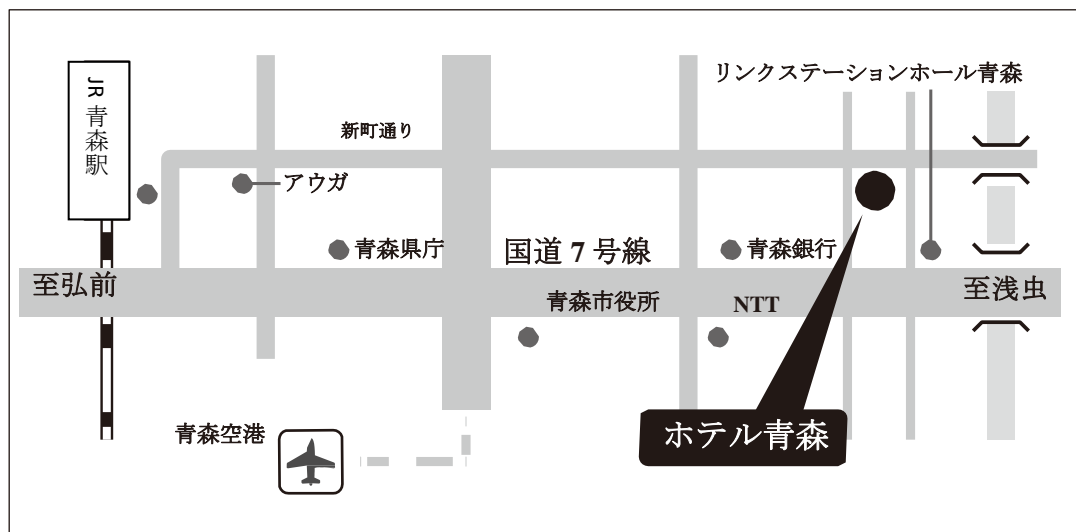
最後に本研究会が益々発展されることを祈念しております。

当番世話人 横山 良仁
(弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座)

御案内

【期 日】 平成 28 年 11 月 12 日(土) 14:00～

【会 場】 ホテル青森 3 階「あすなろの間」 青森市堤町 1-1-3 TEL 017-775-4141



【参加費】 受付で 1,000 円お納めください。

なお、平成 28 年度施設年会費 2,000 円もお納めください。

【世話人会】 13:30～14:00 ホテル青森3 階「はまなすの間 C」

ストーマ部門の世話人会は 13:00 より、会場 3 階「はまなすの間 D」で行います。

【参加費】 一般演題は発表時間 6 分、質疑応答 3 分とします。

(発表は Windows または Mac による PowerPoint にてお願いします。発表当日、PC 持参もしくは USB メモリ、CD-R 等をご持参ください。)

【懇親会】 特別講演終了後、会場ホテル 3 階「はまなすの間」で行いますので、是非ご参加ください。

問い合わせ先(事務局) 弘前大学大学院医学研究科 消化器外科学講座 坂本 義之、諸橋 一
TEL 0172-39-5079 FAX 0172-39-5080

プログラム

【開会の挨拶】 (14:00)

当番世話人 横山 良仁 (弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座)

【一般演題】 セッション1 (14:10~14:40)

座長 諸橋 一 (弘前大学大学院医学研究科 消化器外科学講座)

1. 当院における大腿ヘルニア緊急手術症例 24 例に対する検討

青森県立中央病院 がん診療センター外科 岡野 健介

2. 尿管精のう開口を伴った前立腺癌の1例

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 松本 哲平

3. 整形外科手術における O-arm/ナビゲーションシステムの有用性と適応拡大についての検討

弘前大学大学院医学研究科 整形外科科学講座 柳澤 道朗

セッション2 (14:40~15:30)

座長 丸山 英俊 (三沢市立三沢病院 産婦人科)

4. 左下大静脈症例の骨盤リンパ節郭清経験

大館市立総合病院 産婦人科 水沼 慎人

5. 当院の腹腔鏡下子宮全摘術再開後の手術成績

大館市立総合病院 産婦人科 田村 良介

6. Bevacizumab が有効であり IDS に至った進行卵巣癌の1例

青森県立中央病院 産婦人科 松倉 大輔

7. 卵巣癌の脾臓実質転移の2例

青森県立中央病院 産婦人科 小山 文望恵

8. 当科で過去5年間に経験した転移性卵巣がんについての検討

弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座 飯野 香理

セッション3 (15:30~16:00)

座長 岡田 奈穂美 (青森市民病院 看護部)

土橋 美歌子 (八戸市立市民病院 看護局)

9. 陥没回腸ストーマの管理 ～多職種協働により皮膚障害が改善された1例～

弘前大学医学部附属病院 看護部 松山 裕美

10. 腹腔鏡下大腸切除術におけるストーマ造設症例のセルフケア指導の現状と課題

弘前大学医学部附属病院 看護部 佐藤 愛

11. 縫合創に造設され感染を起こしたストーマの一事例

八戸市立市民病院 看護局 沼野 美幸

【 休 憩 】 コーヒーブレイク (16:00～16:10)

【特別講演 1】 (16:10～17:10)

司会 松宮 むつ子 (つがる総合病院 看護部)

『小児外科消化器疾患治療後の青年期患者における成人外科医療への移行の課題』

山梨大学大学院総合研究部 成育看護学講座 教授 石川 眞里子 先生

【特別講演 2】 (17:10～18:10)

司会 横山 良仁 (弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座)

『婦人科悪性腫瘍に対するロボット手術』

東京医科大学 産科・婦人科学講座 主任教授 井坂 恵一 先生

【閉会の挨拶】 (18:10)

代表世話人 森田 隆幸 (青森県立中央病院 がん診療センター 外科)

【情報交換会】 (18:20～)